

第55回私の街さかた

写真コンテスト 入賞作品



● お問い合わせ／市政推進課広報広聴係 ☎ 26・5706

応募状況

応募者数……………71人
応募作品数……………131点

審査員

菅原 恒男氏
(全酒田写真連盟会長)

渡辺 暁雄氏
(東北公益文科大学准教授)

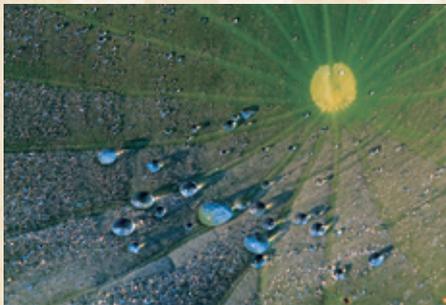
高橋 江里子氏
(株式会社小松写真印刷制作部主任)

入賞作品の展示

土門拳記念館 ◆ 1月5日(火)～13日(水)
松山城址館 ◆ 1月15日(金)～19日(火)
ひらたタウンセンター ◆ 1月21日(木)～25日(月)
八幡タウンセンター ◆ 1月27日(水)～2月2日(火)
総合文化センター ◆ 2月4日(木)～8日(月)
市役所1階 ◆ 2月12日(金)～18日(木) (予定)

阿蘇和夫さん (若宮町二丁目)
「蓮の詩」

蓮の特徴を良くつかんでおり、色調がだんだん実物に近づいていくのが良い。カエルが躍動的。中央の写真が神々しく、生物・自然・宗教が含まれているように感じられる。



◆ 単写真は特選なし。



特選 「夜明け」
高橋 康雄さん (遊佐町)

夜明け前の白鳥という、普段はなかなか見ることができない景色を捉えている。作品の中に時間の流れが見える。3種類の異なる青が素晴らしく、作品から酒田の朝の雰囲気伝わってくる。写真にしかできない表現だ。

入選



みなと
「さかた湊今昔」
田代 貢一さん (宮野浦一丁目)

こうかいぶね
小鵜飼船、千石船、飛鳥Ⅱと、異なる時代の船を通して港町酒田のイメージを表現している。時系列順に配置されており、時の流れが感じられる。タイトルの「湊」の字も良い。



「希望へ」
茂木 玲子さん (みずほ一丁目)

視点の勝利。無機質で都会的な部分が酒田にもあると気付かされる。全体の色と中央の親子の服の色が合っている。組み写真を意識して撮られた作品。

ふるさと発見賞

かや
「茅ぶき職人の修業中」
藤井 恵次さん (光ヶ丘四丁目)

若者が伝統を受け継ぐさまを通して、私たちがふるさとに気付かされる。文化を伝える意味でも重要な作品。師匠とのツーショットがほほ笑ましい。

